



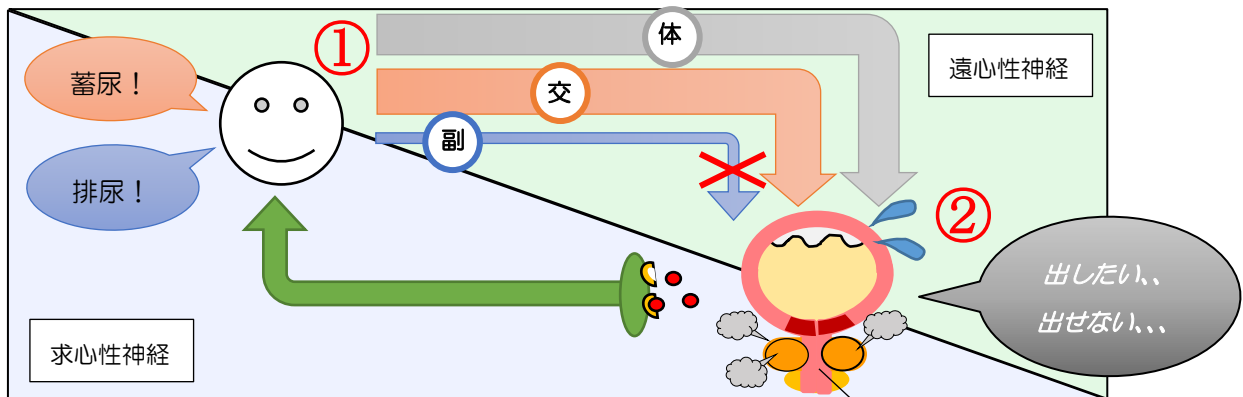
おくすり通信

No. 46 泌尿器～排尿症状の改善～

こんにちは、薬剤科です。今回は排尿症状を改善する薬剤をご紹介します。主に前立腺肥大による排尿困難を改善する薬剤です。

《排尿症状の病態》 ※排尿症状は、自然な排尿がしにくくなる状態。

蓄尿機能に関係する①交感神経と体性神経が過剰に働くことで、②排尿に関わる筋肉が収縮してしまい尿が出にくくなります。また、**前立腺肥大症による尿道の閉鎖**や**膀胱がうまく収縮できない機能障害**なども原因となります。男性の排尿障害は**前立腺肥大症**によるものが多いとされています。



肥大して尿道が狭い!!

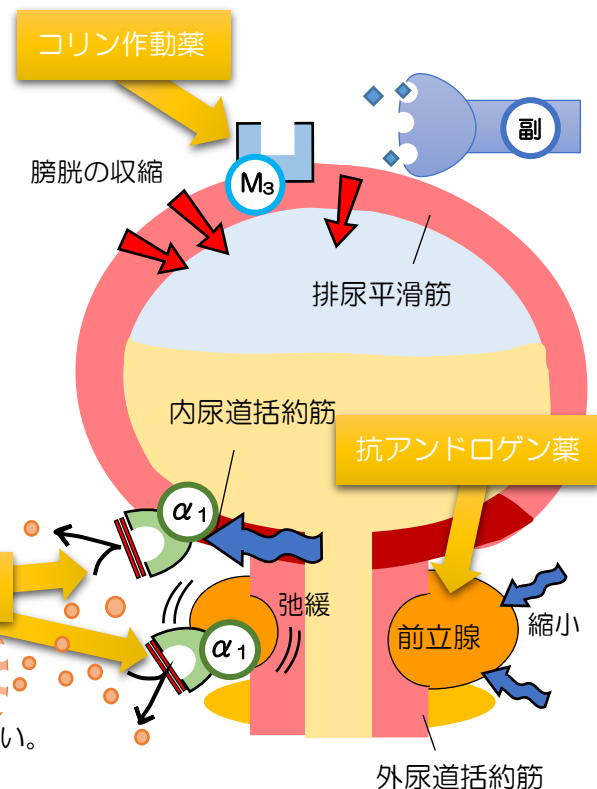
《治療薬》

主な治療薬は表の通りです。**コリン作動薬**は、**膀胱の収縮力を高める**お薬です。副交感神経の支配を受ける**ムスカリン受容体 (M₃)**を刺激し排尿平滑筋を収縮することで尿を出しやすくします。**α₁受容体拮抗薬**は、交感神経の支配を受けるα₁受容体を遮断し、**内尿道括約筋と前立腺を弛緩させる**作用があります。これにより尿道の閉鎖が抑えられ**排尿症状の緩和**につながります。**抗アンドロゲン薬**は、**前立腺肥大症の治療薬**であり前立腺の容積を縮小させる作用があります。

	商品名	一般名
コリン作動薬	ウブレチド	ジスチグミン
	ベサコリン	ベタネコール
α ₁ 受容体拮抗薬	ハルナール	タムスロシン
	フリバス	ナフトピジル
	ユリーフ	シロドシン
	ミニプレス	プラゾシン
抗アンドロゲン薬	プロスタール	クロルマジノン
	ペリアス	アリルエストレノール
	アボルブ	デュタステリド

前立腺に作用

特徴的な副作用：尿失禁



そのほか気になる点がございましたら、お気軽にご相談ください。